

ごあいさつ

この度は追手門学院大学附属図書館『宮本輝ミュージアム』にご来館いただきまして誠にありがとうございます。ミュージアム開設二周年記念として、「優駿」展を開催いたします。

小説「優駿」は1986年に新潮社より出版されました。「競馬小説」といえばギャンブル小説がほとんどだった時代に、サラブレッドのもつ不思議な美しさを文学にすることはできないか、という宮本輝氏の思いが形になった作品です。この作品で宮本氏は翌87年に、歴代最年少で吉川英治文学賞を受賞いたしました。

今回の展示会は、単に賭け事として競馬界を見るのではなく、さまざまな人の思いが込められた「優駿」の世界を感じていただくことをテーマとしております。ご来館の皆さまには、作品紹介や関連資料などをご覧いただくとともに、宮本氏ご本人の作品に対する思い、競走馬に密着して撮影された美しい写真で「優駿」をたどっていただければと存じます。

今回はフジテレビから、映画「優駿 ORACION」スチール写真や関連資料を、日本中央競馬会(JRA)からはサラブレッドの写真や競走馬にまつわるビデオなどをご協力いただきました。また、宮本氏には関連写真や資料をご提供いただくとともに、多忙な中時間を割いてインタビュー取材もお受けいただきました。皆さまの多大なるご協力に感謝しております。この場を借りて深くお礼申し上げます。